B-40
ハンドブレーキ付アルミ製介護車<背折れタイプ>
～取扱説明書～

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
また、読まれたあとは大切に保管して下さい。

目 次

はじめに …… 1 P
梱包内容 …… 1 P
ご使用のまえに …… 2 P
ご使用上の注意 …… 2～4 P
お手入れ方法 …… 5 P
点検・保管方法 …… 5 P
各部の名称と製品仕様 …… 6 P
車体の組み立て方 …… 7 P
車体の折りたたみ方 …… 8 P
フットサポートの調節方法 … 9 P
駐車用ブレーキの使用方法 … 9 P
安全ベルトの使用方法 …… 9 P
ハンドブレーキレバーの使用方法 ……10P
故障かな？と思ったら ……10P

製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポート室にご連絡下さい。

株式会社 幸和製作所
〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町３丁１５９番地１
【カスタマーサポート室】10時～17時（土・日・祝日を除く）
フリーコール 0120-508-058 フリーコール コーワ オーコーワ

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。

はじめに

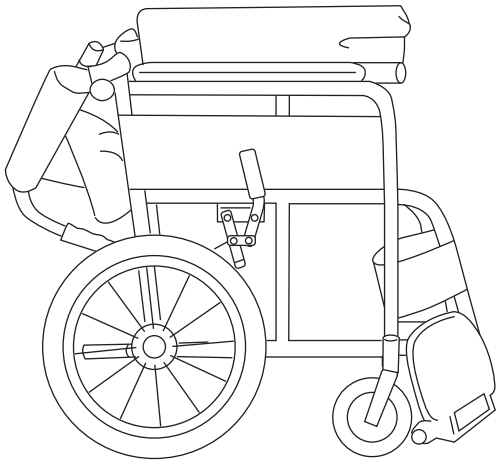
◎保証書の「お買い上げ日」「販売店」の欄を確認して下さい。

「お買い上げ日」、「販売店」にそれぞれ記入または捺印がされていることを確認して下さい。販売店の記入または捺印がない場合は、保証期間内であっても保証・修理をお受けできない場合がございます。

◎介助用に使用される場合はハンドブレーキ付、安全ベルト付をおすすめいたします。

この製品には、安全に使っていただくためにハンドブレーキ・安全ベルトをつけております。

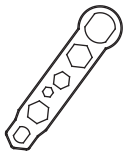
梱包内容



付属品

取扱説明書 1冊

保証書 1枚



スパナ 1個

ご使用のまえに

●各部の留め金具（ネジ・ナットなど）が緩んでいないことを確認して下さい。
緩んでいる場合は、締め直してから使用して下さい。

●ハンドブレーキと駐車用ブレーキのかかり具合と解除機能を必ず確認して下さい。

●車輪にガタツキがないか、リムに振れ・変形がないか、スポークに曲がりや折れがないことを確認して下さい。

●アームサポートやバックサポート、フットサポートが車体に確実に固定されていることを確認して下さい。

●タイヤに亀裂や穴・傷がないこと、また表面に溝が十分残っていることを確認して下さい。
タイヤは、表面の溝が無くなる前に交換して下さい。

●タイヤの空気圧は適正か、確認して下さい。

ご使用上の注意

表示マークの説明		
	⚠警告	内容を守らず誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
	⚠注意	内容を守らず誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があることを示します。
	禁止	してはいけない内容であることを示します。
	強制	必ずしていただく内容であることを示します。

⚠警告

禁止

●手押しハンドルに寄りかかったり、重い荷物を吊り下げないで下さい。
バランスを崩し、転倒する恐れがあります。

●回転している車輪に指などを入れないで下さい。
ケガをする恐れがあります。

●タイヤを持って操作しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

●走行中に身体を前に乗り出さないで下さい。
車いすが不安定になり危険です。段差や凹凸のある路面を走行する際も、身体が前のめりにならないように注意して下さい。

●車いすを火気に近づけないで下さい。変形・火災の恐れがあります。

●付属品のスパナは、指定の箇所以外には使用しないで下さい。
故障の原因となる恐れがあります。

●分解・修理は弊社サービス員以外行わないで下さい。

⚠警告

強制

●**道路を通行する場合は、必ず右側を通行して下さい。**
（歩道がある場合は歩道を通行して下さい。）
道路交通法規を守らないと、交通事故の原因となります。また、本製品の保証範囲外となります。

●**ハンドブレーキ、駐車用ブレーキの効き具合を必ず確認して下さい。**
強すぎる、または弱すぎる場合はすぐにご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポート室にご連絡下さい。

●**使用者最大体重（積載物も含む）を必ず守って下さい。**

●**車いすに乗る方は必ず安全ベルトを締めて下さい。**

●**車いすに乗り降りする時は、必ず左右の駐車用ブレーキをかけて下さい。**

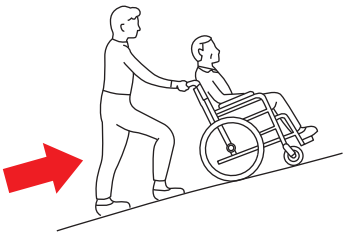
●**車いすに乗り降りする時は、必ずフットサポートを上げて下さい。**
フットサポートを踏み台代わりにしたり、フットサポートの上に立ち上がると、車いすごと転倒する恐れがあります。

●**走行中は必ず足をフットサポートの上に乗せて下さい。**
足を地面につけたりフットサポートから外すと、フットサポートと地面の間に足が巻き込まれて、ケガをすることがあり危険です。

●**車いすで急な坂道の登り下りをする場合は、必ず介助者の方が支えて下さい。**

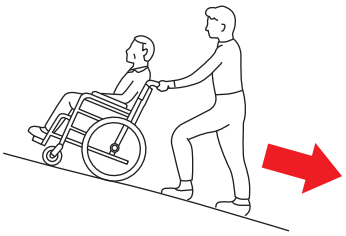
●**坂道を下る時は、介助者の方が後方に十分注意して、必ず後ろ向きで走行して下さい。**
前向きで下ると、乗っている人が前へずり落ちる・前へ倒れる・スピードが出やすいなど、非常に危険です。また、介助者の方がバランスを失う恐れがあります。※自分で操作される場合は、前向きに走行して下さい。

登り坂



前向きで走行して下さい。

下り坂



後ろ向きで走行して下さい。

●**踏切では、介助者の方が操作して、車輪がレールに対して直角になるように横断して下さい。**
斜めの角度で進入すると、車輪がレールの溝にはまって大変危険です。

⚠注意

禁止

●車いすを放り投げたり、高い場所などから落としたりしないで下さい。

●車いすを台車代わりにして物品運搬などに使用しないで下さい。

●シート以外の部分に座ったり、シートに立ち上がったりしないで下さい。
転倒、破損の恐れがあり危険です。

●以下のような場所には放置しないで下さい。
・坂道・車道に近い所、人通りのある所。
・湿気の多い所、雨ざらしになる所。
・ストーブなどの火気を使用し、高温になる所。

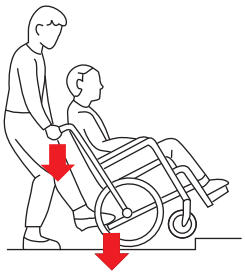
●坂道では駐車しないで下さい。
ブレーキをかけていても車いすが動く場合があり、大変危険です。

●人を乗せたままアームサポートを持って持ち上げないで下さい。
転倒、破損の恐れがあり危険です。

●背折れタイプの車いすは、手押しハンドルを持って持ち上げないで下さい。
背折れ部が破損する恐れがあります。

●段差を乗り越える時は、絶対に勢いをつけて押さないで下さい。
必ず下記の手順で行って下さい。

1

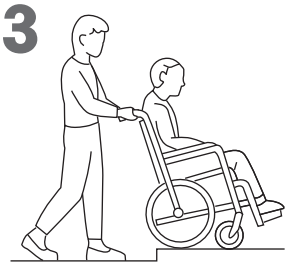


介助者の方がティッピングレバーを踏みながら手押しハンドルを押し下げる。

2

前輪を段差に乗せる。

3



後輪を浮かし段差を乗り越える。

強制

●以下の場所・状況では十分に注意して走行して下さい。
・坂道・溝・段差のある所、踏切、エレベータの乗り降り。
・雨・雪・凍結などで滑りやすい所。
・交通量の多い所、混雑している所、及び夜間。

●坂道では、十分注意して走行して下さい。
車いすが予想外の方向に進むことがあり大変危険です。

●介助者の方は、乗っている人の身体の一部や衣類が、タイヤ・スポーク・キャスタなどにはさまらないように、また地面・建物・通行者などに触れないように注意して走行して下さい。

●車いすに人を乗せたまま持ち上げる場合は、３～４人で固定されているパイプをしっかり支えて下さい。

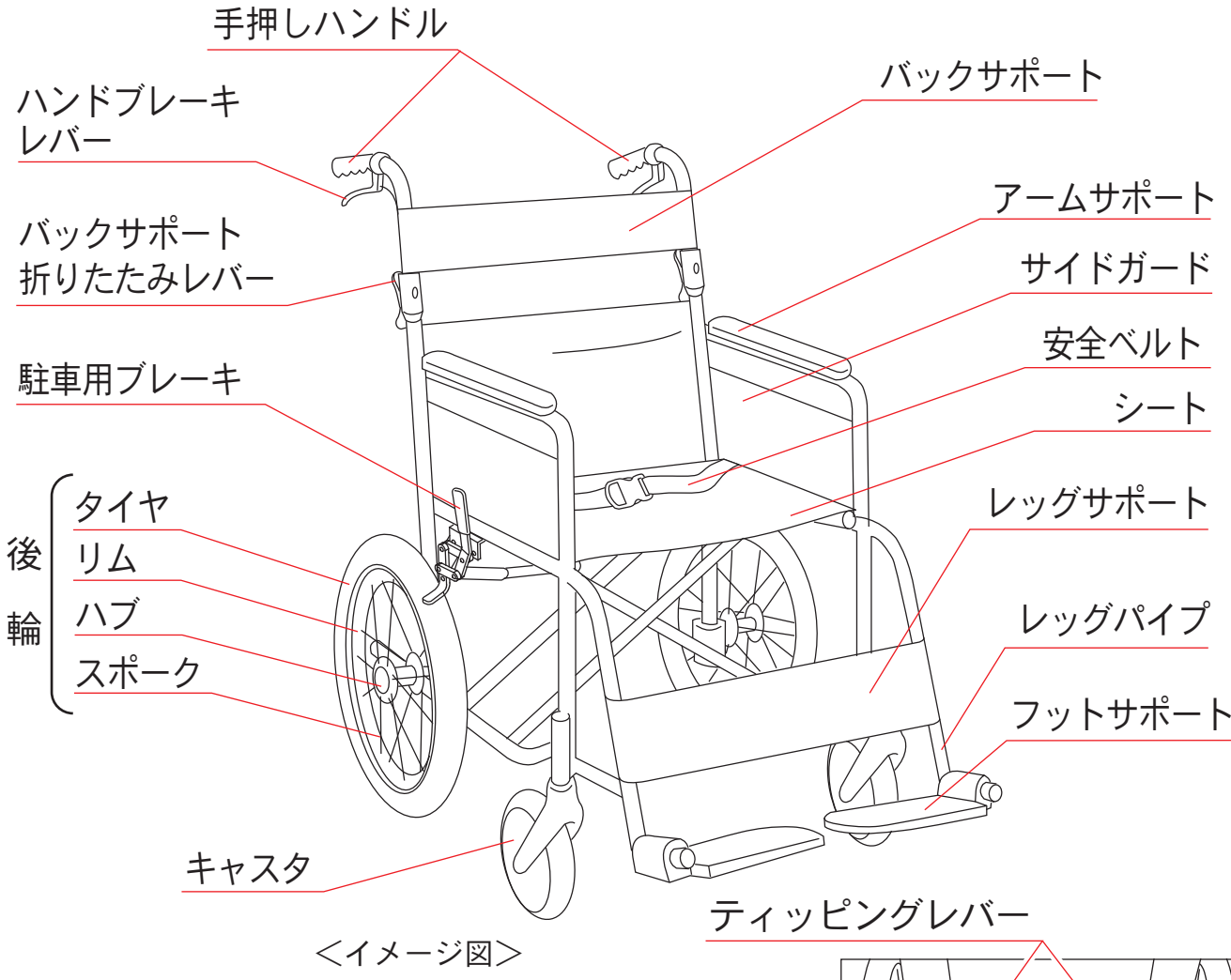
お手入れ方法

- 雨などで濡れた時は乾いた布で拭き取って下さい。泥やほこりがついた時は、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いて下さい。
- シートの汚れは水につけた布を固くしぼって拭き、その後よく乾かして下さい。
- フレームは 1 週間に一度乾いた布で定期的に磨いて下さい。
- ひどい汚れはすぐに落として下さい。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないで下さい。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

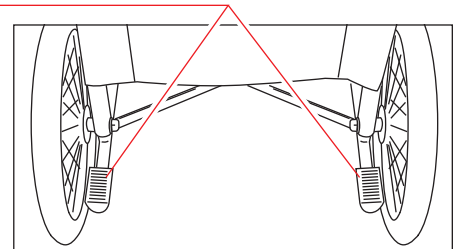
点検・保管方法

- 車いすを長くお使いいただくためには、定期的に販売店の点検を受けられることをおすすめいたします。
- ハンドブレーキワイヤーは、1 年に 1 度定期的に交換して下さい。
- タイヤの空気圧は、2.5 ～ 3.0kgf/cm²（車輪を手で押してややかたい程度）に保つよう調節して下さい。不適当な空気圧で使用すると、パンクを誘発したり、タイヤやリムを破損させる原因になります。その際、バルブが確実に閉まっていることも確認して下さい。
- 長期間使用しない時は、汚れを落とし日陰で保管して下さい。
- 高温になる場所では、保管しないで下さい。

各部の名称と製品仕様



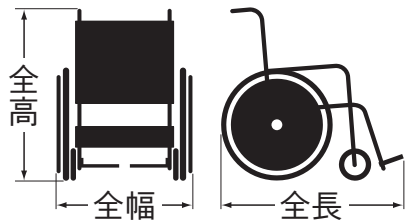
<イメージ図>



※本体後方から見た図

介助式

背折れタイプ

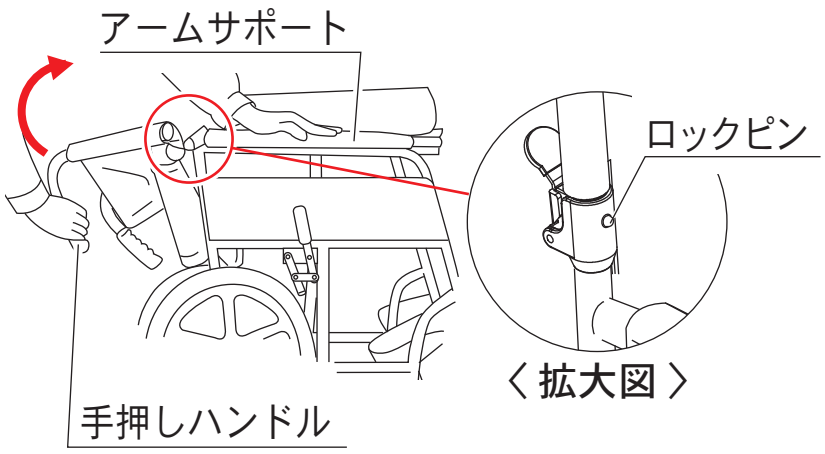


組み立て寸法	全幅645×全長1005×全高840 (mm)	重　　量	12kg
折りたたみ寸法	全幅335×全長855×全高680 (mm)	使用者最大体重	75kg (積載物も含む)
押し手高さ	805 (mm)		
座面高さ	445 (mm)	本体材質	アルミ
座面寸法	幅420×奥行400 (mm)		
車輪寸法	前輪6インチ　後輪16インチ		

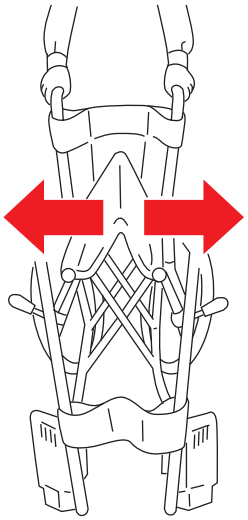
※折りたたみ寸法は参考数値です。

車体の組み立て方

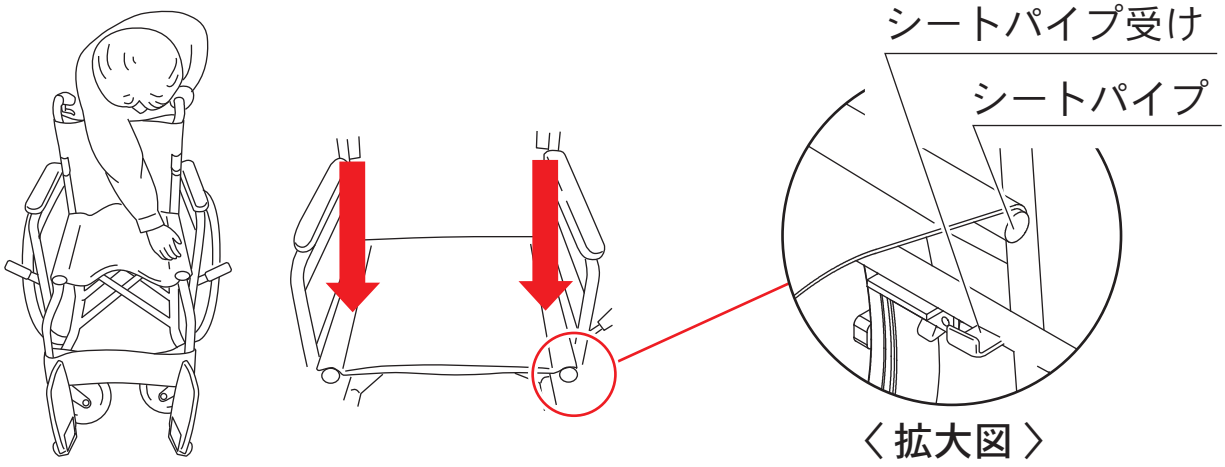
1 片方の手でアームサポートを押さえながら手押しハンドルを矢印の方向に持ち上げ、ロックして下さい。ロックピンが完全に出ていて手押しハンドルが固定されている事を確認して下さい。



2 左右の手押しハンドルを持ち、矢印の方向（両側）に広げて下さい。



3 片方の手で手押しハンドルを持ち、シートを下へ押し下げて下さい。
その後、両手でシートの両端をしっかり押し下げて下さい。

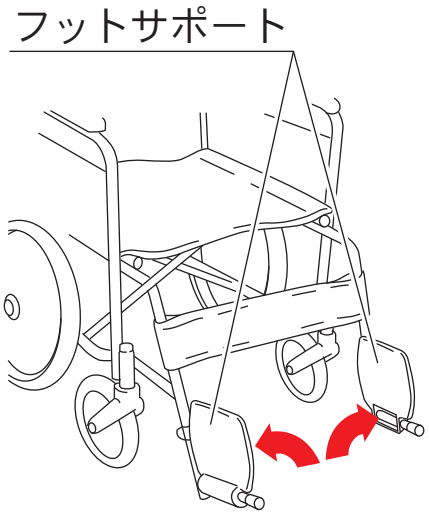


⚠注意

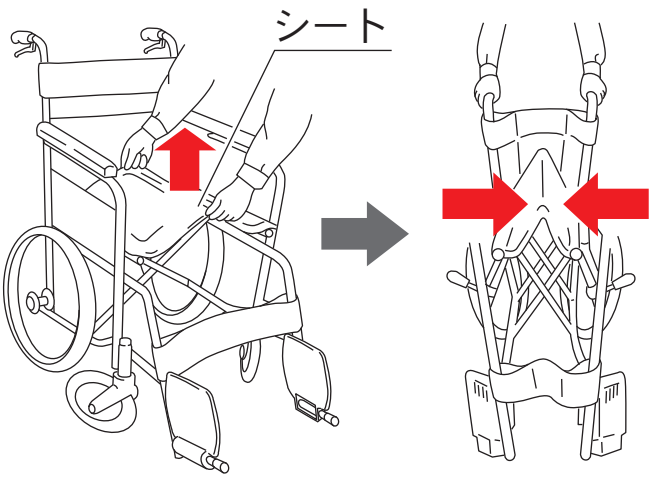
- 手押しハンドルが確実にロックされていることを確認して下さい。
- シートパイプがシートパイプ受けに入っていることを確認して下さい。
- 周囲に人がいないことを確認してから行って下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。

車体の折りたたみ方

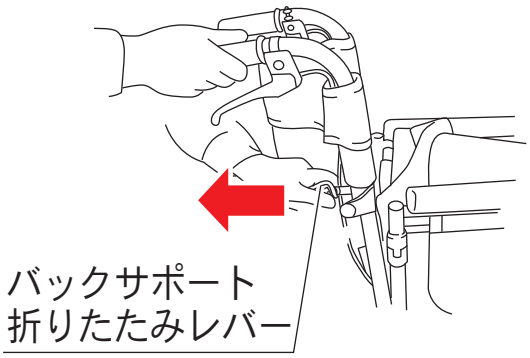
1 左右のフットサポートを矢印の方向へ上げて下さい。



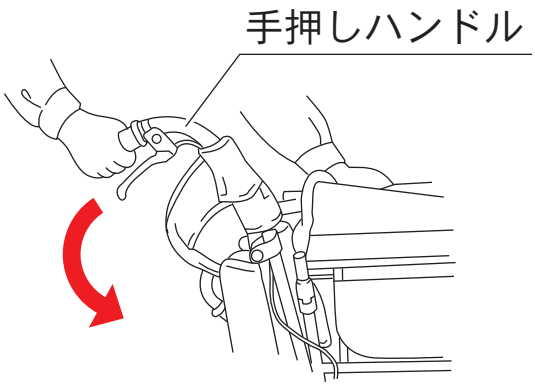
2 シートの前方と後方の中央部分を上へ同時に持ち上げ、左右の手押しハンドルを中央へ寄せて下さい



3 手押しハンドルを片方の手で持ち、もう片方の手でバックサポート折りたたみレバーを矢印の方向へ引いてロックを外して下さい。

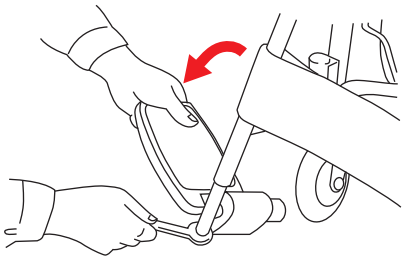


4 手押しハンドルを矢印の方向へ倒して下さい。他方も同様にして折りたたんで下さい。

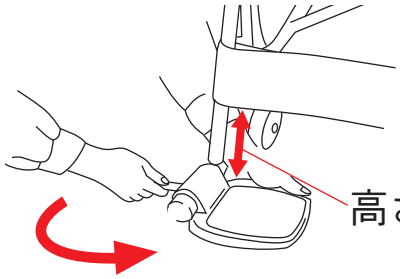


⚠注意
- 周囲に人がいないことを確認してから行って下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。

フットサポートの調節方法

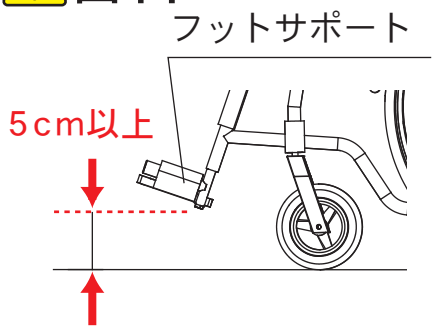


1 フットサポートを外側に少し倒し、付属品のスパナで、レッグパイプの先端ボルトをフットサポートが少し動くところまで緩めて下さい。



2 フットサポートを矢印の方向に回転させ、高さ調節を行い、先端ボルトを確実に締めて下さい。

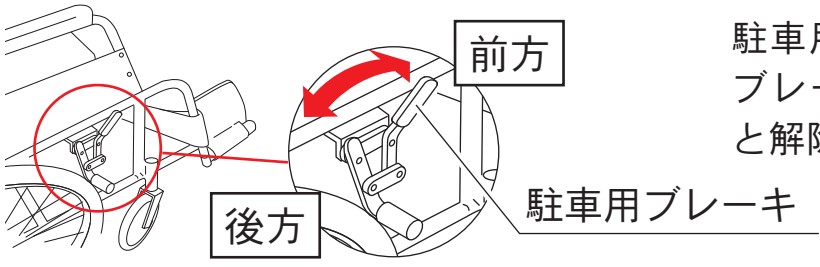
⚠警告



- 付属品のスパナは指定の箇所以外には使用しないで下さい。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- フットサポートの高さは地面より５ｃｍ以上で使用して下さい。低すぎると凹凸のある路面や障害物にフットサポートが当たり、転倒する恐れがあります。

⚠注意 ● 指などをはさまないように注意して下さい。

駐車用ブレーキの使用方法



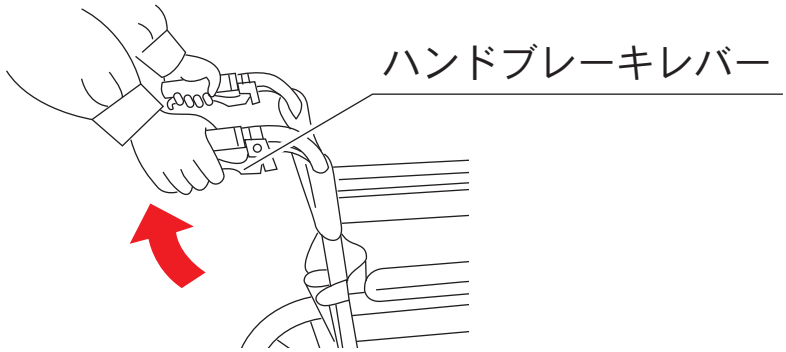
駐車用ブレーキを前方に倒すとブレーキがかかり、後方に引くと解除されます。

安全ベルトの使用方法

安全ベルトが付いている車いすを使用する時は、必ず安全ベルトを締めて下さい。座面に深く腰掛けて安全ベルトをしっかりと締めて下さい。締め付けが弱いと、身体が前のめりになり、車いすからずり落ちる恐れがあります。

ハンドブレーキレバーの使用方法

ハンドブレーキレバーを手押しハンドルと一緒に握って下さい。ブレーキがかかります。停車時や下り坂を走行する際の速度減速に使用して下さい。



⚠注意 ●ハンドブレーキは、必ず介助者の方が左右同時にかけて下さい。
片側のみではバランスを崩し、転倒事故の原因となります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思うような症状が発生したら、修理を依頼する前にもう一度、下記の点を確認して下さい。

症　状	確認する所	対　処
空気を入れても すぐに抜ける	タイヤの空気入れ部のネジは、締まっていますか？	締め直して下さい。
	ムシゴムが劣化していませんか？	ムシゴムを交換して下さい。
走行操作が重い	タイヤの空気圧は適正ですか？	空気を入れて下さい。
	車輪やキャスタに、毛髪・ビニールなどが巻きついていませんか？	取り除いて下さい。
ブレーキが効かない	タイヤの空気圧は適正ですか？	空気を入れて下さい。

上記の対処をしても良くならない場合、または、症状に当てはまらない場合は、ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポート室にご連絡下さい。

手動車いす

SGマークが表示された車いすは安心してお使いいただけます。

SG マークが表示された車いすは安心してお使いになれますが、万一、消費者の皆様が正常に使用していた時に、製品の欠陥による事故が発生し人身の損害を被った場合には『製品安全協会』がその損害を賠償いたします。
※但し、保証期間は購入後４ヵ年です。

■賠償についてのご注意

生産物賠償責任保険はご購入の車いすそのものが故障しても、その品質について保証するというものではありません。
その製品の欠陥に基づいて発生した事故による人身の損害に対する対人賠償制度です。

■賠償金の請求について

事故が発生した日から60日以内に下記にご連絡下さい。

財団法人 製品安全協会
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町１丁目５番９号 共同ビル
ＴＥＬ.03−5255−3631(代表)

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポート室へご連絡下さい。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡し下さい。

http://www.kowa-ws.co.jp